

## 訂正記事

岩手医科大学歯学雑誌第38巻3号（平成26年1月28日発行）の掲載論文に、編集と校正過程の手違いによる誤記がありました。編集委員会で協議のうえ、著者に論文受理から校正終了までの経過を説明し、その結果、著者から以下のように訂正する旨の知らせがありました。ここに訂正記事として掲載します。

訂正論文：岩手医科大学歯学雑誌第38巻第3号117-123頁「歯根の骨置換性吸収により歯の移動が困難であった1例」

訂正箇所：118頁，右上8行目～12行目：「側切歯は犬歯の影響により著しく歯根吸収をきたしていたため，そのため，上顎にリングアーチ，上顎右側中切歯にバックルボタンを接着し牽引を開始し，さらにマルチブラケットによるレベリングを行った。」

訂正文：上記を「側切歯は犬歯の影響により著しく歯根吸収をきたしていたため，保存不可能と判断して抜歯し，中切歯のみ牽引誘導を試みた。上顎にリングアーチ，上顎右側中切歯にバックルボタンを接着し牽引を開始し，さらにマルチブラケットによるレベリングを行った。」とします。

本誌の編集にあたっては，投稿者ならびに読者の方々の利益に寄与すべく，今後とも編集委員会と編集委員長の責任のもとに行っていきます。

なお，この訂正記事は独立行政法人科学技術振興機構で示されている科学技術情報交流技術基準（SIST）の「学術雑誌の発行と構成」（2010年3月25日改訂，SIST 07:2010）指針に沿ったことを申し添えます。

岩手医科大学歯学雑誌編集委員長 武田泰典